

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場会社名 クオール株式会社

上場取引所 大

コード番号 3034 URL <http://www.qol-net.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中村 勝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 福満 清伸

TEL 03-3356-1496

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	42,120	18.0	1,435	58.1	1,445	60.8	652	13.5
21年3月期第3四半期	35,708	—	908	—	898	—	574	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	5,271.08	—
21年3月期第3四半期	9,288.69	—

(注)21年3月期第3四半期の1株当たり四半期純利益につきましては、平成21年9月1日を効力発生日とした株式分割を考慮しておりません。詳細は3ページ「(ご参考)株式分割に伴う遡及修正値」をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	25,499	9,637	37.8	77,882.55
21年3月期	23,753	9,109	38.3	147,224.21

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 9,637百万円 21年3月期 9,109百万円

(注)21年3月期の1株当たり純資産につきましては、平成21年9月1日を効力発生日とした株式分割を考慮しておりません。詳細は3ページ「(ご参考)株式分割に伴う遡及修正値」をご覧ください。

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	1,000.00	—	1,000.00	2,000.00
22年3月期	—	500.00	—		
22年3月期 (予想)				500.00	1,000.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

21年3月期の1株当たり配当金につきましては、平成21年9月1日を効力発生日とした株式分割を考慮しておりません。詳細は3ページ「(ご参考)株式分割に伴う遡及修正値」をご覧ください。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,156	12.5	1,628	8.4	1,661	12.1	709	8.5	5,734.01

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 ― 社 (社名) 除外 ― 社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等)の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 125,184株 21年3月期 62,592株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 1,440株 21年3月期 720株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 123,744株 21年3月期第3四半期 61,872株

(注)21年3月期の期末発行済株式数(自己株式を含む)、及び21年3月期の期末自己株式数、21年3月期第3四半期の期中平均株式数(四半期連結累計期間)につきましては、平成21年9月1日を効力発生日とした株式分割を考慮しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

(ご参考) 株式分割に伴う遡及修正値

当社は、平成21年9月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施いたしました。当該株式分割が前期首に行われたと仮定した場合の平成21年3月期第3四半期の1株当たり四半期純利益及び、平成21年3月期の1株当たり純資産、平成21年3月期の1株当たり配当金は以下のとおりです。

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
(連結) 21年3月期第3四半期	円 銭 4,644.34	円 銭 —

	1株当たり純資産
21年3月期	円 銭 73,612.11

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
21年3月期	円 銭 —	円 銭 500.00	円 銭 —	円 銭 500.00	円 銭 1,000.00

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成21年4月1日～平成21年12月31日)におけるわが国経済は、製造業において海外事業が改善傾向にあります。デフレ状況が好転する兆しが見られないなど、依然として厳しい環境で推移しました。

当社グループの主力である保険薬局業界におきましては、政権交代にともなう政策転換が今後の企業環境に与える影響は不透明であります。

このような経営環境のもと、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、主力である保険薬局事業の業績を中心に堅調に推移しました。既存店における調剤売上の増加に加え、当社及び子会社における新規保険薬局の出店効果により増収となりました。費用面におきましては、中期的な経営環境を見据え、保険薬局の業務効率化・コスト低減に注力したことにより、営業利益、経常利益及び四半期純利益において増益となりました。以上の結果、売上高42,120百万円(対前年同期比118.0%)、営業利益1,435百万円(対前年同期比158.1%)、経常利益1,445百万円(対前年同期比160.8%)、四半期純利益652百万円(対前年同期比113.5%)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産の状況

当第3四半期の資産合計は25,499百万円となり、前連結会計年度末から1,745百万円増加しております。

主な内容としましては、当社及び子会社における新規出店や既存店の増収にともなう売掛金及びたな卸資産の増加等により、流動資産合計が1,174百万円増加したこと、また新規出店及びのれんの増加等により、固定資産合計が571百万円増加したことによるものであります。

(2) 負債の状況

当第3四半期の負債合計は15,862百万円となり、前連結会計年度末から1,217百万円増加しております。

主な内容としましては、当社及び子会社における新規出店や既存店の増収にともなう買掛金の増加等により流動負債が1,725百万円増加したこと、長期借入金の返済及び子会社の退職給付引当金の減少等により固定負債が508百万円減少したことによるものであります。

(3) 純資産の状況

当第3四半期の純資産合計は9,637百万円となり、前連結会計年度末から528百万円増加しております。

主な内容としましては、四半期純利益を652百万円計上したことによるものであります。

(4) キャッシュフローの状況

当第3四半期におきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは仕入債務の増加額2,060百万円、法人税等の支払額861百万円等により2,039百万円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは有形固定資産の取得による支出698百万円、営業譲受による支出621百万円等により1,714百万円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは長期借入金の返済による支出874百万円、長期借入れによる収入600百万円等により607百万円の支出となりました。

この結果、現金及び現金同等物の減少は282百万円となり、現金及び現金同等物の当第3四半期末残高は2,212百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

現時点で、平成21年7月30日公表の業績予想に変更はありません。

上記予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては実地棚卸を省略して、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化が無いと認められるので、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プ

ランニングを利用する方法によっております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理）

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

- （３）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,411,299	2,676,247
売掛金	7,882,975	7,220,430
商品及び製品	2,136,168	1,391,461
仕掛品	69,015	31,663
貯蔵品	62,586	57,550
繰延税金資産	427,220	427,220
その他	304,673	314,705
貸倒引当金	△21,245	△21,083
流動資産合計	13,272,695	12,098,196
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,149,811	1,989,972
工具、器具及び備品（純額）	624,516	533,381
土地	587,915	572,915
その他（純額）	133,705	56,207
有形固定資産合計	3,495,948	3,152,476
無形固定資産		
のれん	5,792,063	5,717,309
ソフトウェア	—	648,675
その他	781,011	56,151
無形固定資産合計	6,573,075	6,422,136
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,686,999	1,657,301
繰延税金資産	38,532	38,630
その他	434,841	389,405
貸倒引当金	△2,338	△4,293
投資その他の資産合計	2,158,034	2,081,044
固定資産合計	12,227,058	11,655,657
資産合計	25,499,753	23,753,853

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,177,550	8,117,395
1年内返済予定の長期借入金	—	1,095,834
未払法人税等	355,591	459,553
賞与引当金	391,393	702,295
その他	2,154,828	978,715
流動負債合計	13,079,364	11,353,794
固定負債		
長期借入金	2,625,295	2,970,893
繰延税金負債	29,418	29,564
退職給付引当金	9,611	105,664
その他	118,564	184,881
固定負債合計	2,782,889	3,291,003
負債合計	15,862,254	14,644,797
純資産の部		
株主資本		
資本金	814,600	814,600
資本剰余金	6,767,005	6,767,005
利益剰余金	2,074,326	1,545,806
自己株式	△18,360	△18,360
株主資本合計	9,637,572	9,109,051
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△73	4
評価・換算差額等合計	△73	4
純資産合計	9,637,498	9,109,056
負債純資産合計	25,499,753	23,753,853

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	35,708,213	42,120,900
売上原価	32,164,441	37,340,568
売上総利益	3,543,771	4,780,332
販売費及び一般管理費	2,635,750	3,344,701
営業利益	908,021	1,435,630
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,994	—
受取家賃	5,418	7,854
受取手数料	23,957	26,574
負ののれん償却額	—	15,914
その他	7,553	10,177
営業外収益合計	40,924	60,520
営業外費用		
支払利息	44,365	45,315
持分法による投資損失	1,700	—
その他	4,188	5,731
営業外費用合計	50,254	51,046
経常利益	898,690	1,445,103
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,471	—
賞与引当金戻入額	—	14,251
固定資産売却益	23,127	1,757
国庫補助金	—	2,819
退職給付制度改定益	—	13,433
その他	11,071	3,643
特別利益合計	36,671	35,905
特別損失		
固定資産売却損	—	41,080
固定資産除却損	18,516	27,448
店舗閉鎖損失	5,252	14,194
店舗閉鎖損失引当金繰入額	13,995	—
固定資産圧縮損	—	2,036
その他	1,272	27,054
特別損失合計	39,038	111,813
税金等調整前四半期純利益	896,323	1,369,196
法人税等	321,149	716,931
少数株主利益	464	—
四半期純利益	574,709	652,264

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	896,323	1,369,196
減価償却費	436,817	585,150
のれん償却額	277,292	287,806
持分法による投資損益(△は益)	1,700	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△6,861	△96,052
賞与引当金の増減額(△は減少)	△290,907	△310,901
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,424	△1,793
固定資産除売却損益(△は益)	△4,610	66,770
固定資産圧縮損	—	2,036
投資有価証券売却損益(△は益)	—	104
受取利息及び受取配当金	△3,994	△1,835
支払利息	45,667	46,053
たな卸資産の増減額(△は増加)	△563,838	△722,775
売上債権の増減額(△は増加)	△107,782	△662,545
仕入債務の増減額(△は減少)	1,133,851	2,060,154
その他	277,188	321,246
小計	2,087,420	2,942,615
利息及び配当金の受取額	3,994	1,835
利息の支払額	△47,052	△44,306
法人税等の支払額	△649,465	△861,045
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,394,896	2,039,099
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△417,396	△137,628
定期預金の払戻による収入	724,581	120,157
有形固定資産の取得による支出	△938,823	△698,209
有形固定資産の売却による収入	37,986	3,308
投資有価証券の取得による支出	△94	△99
投資有価証券の売却による収入	—	739
子会社株式の取得による支出	△1,099,540	—
営業譲受による支出	△308,195	△621,887
無形固定資産の取得による支出	△256,474	△227,002
貸付金の回収による収入	1,791	1,801
敷金及び保証金の差入による支出	△115,336	△134,912
敷金及び保証金の回収による収入	70,380	56,938
その他	△71,473	△77,283
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,372,596	△1,714,079
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	300,000	△130,000
長期借入れによる収入	1,700,000	600,000
長期借入金の返済による支出	△821,967	△874,608
社債の償還による支出	△120,000	△75,000
配当金の支払額	△123,744	△127,829
財務活動によるキャッシュ・フロー	934,289	△607,437
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△43,410	△282,418

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年12月31日)
現金及び現金同等物の期首残高	2,460,865	2,495,208
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	39,372	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,456,826	2,212,790

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	保険薬局事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	34,038,033	1,670,180	35,708,213	—	35,708,213
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	44,883	44,883	△44,883	—
計	34,038,033	1,715,063	35,753,097	△44,883	35,708,213
営業利益	1,197,183	139,877	1,337,061	△429,039	908,021

(注) 1. 事業区分の方法

市場及び販売方法等の類似性に基づいて、保険薬局事業とその他事業の2つのセグメントに区分しております。

2. 各事業区分の主要な内容

①保険薬局事業：健康保険法に基づく療養の給付の一環として、保険調剤業務を取り扱う薬局を経営する事業であります。

②その他事業：医療・医薬情報資材制作関連事業、医薬品治験関連事業

3. 事業区分の変更

従来、「医療・医薬情報資材制作関連事業」、「医薬品治験関連事業」の2つのセグメントを区分掲記しておりましたが、重要性が低下したため、第2四半期連結会計期間より「その他事業」として表示しております。

なお、従前の区分に従った前第3四半期連結累計期間における医療・医薬情報資材制作関連事業の売上高は1,422,981千円、営業利益は85,026千円であります。同じく医薬品治験関連事業の売上高は292,082千円、営業利益は55,243千円であります。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

保険薬局事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。